

People

孤独な経営者のよき相談相手に

企業にとって欠かせない存在である税理士。税務面から企業の活動をサポート。経営者のよきパートナーとして親身に相談に応じている。ニーズの高まりと同時に税理士の数も増え、今や顧客側がすぐれた税理士を選ぶ時代だ。大阪府堺市にある川村会計事務所は、2006年の開設以来、敷居の低い会計事務所をモットーに、順調にクライアントの数を伸ばしている。所長の川村和弘氏は39歳。税理士としては若いながら、豊富な経験と知識をあわせ持つ。多くのクライアントから厚い信頼を得ている税理士のひとりだ。



川村会計事務所
所長 川村和弘氏

「お客さまにとって話しやすく、経営者と同じ目線で物事を考え、何でも気軽に相談ができる。これが私の事務所の特徴です」

関西大学法学部を卒業後、税

理士試験に合格。12年間の税理士事務所の勤務を経て独立した。

「勤務時代に税務会計のノウハウを徹底的に学びました。周囲も尊敬できるかたちばかり

でしたし、いま振り返れば、人には本当に恵まれていました」

独立して4年、クライアント数は70を超える。顧客の業種は多岐にわたるが、なかでもサービス業、小売業が多い。

常にタイムリーな試算表を作成

「税理士はサービス業」という意識を持ち、敷居を低く、誰でも気軽に相談できる事務所運営を実践する。契約するまでの相談料は一切受け取らない方針を貫く。

「気軽にきていただきたいという思いがあって無料にしています。税理士は平均年齢が60代と高齢。その影響もあって敷居の高いイメージが業界にある。それを少しでも払拭できたらという思いもある」と話す。

財務に関するコンサルタント

を中心に、資産税や経営計画、節税に関するアドバイスをし、企業をサポートする川村氏。「クライアントの方々には常にタイムリーな試算表を提出するようにしています。試算表が新しいほどの確かなアドバイスができますから」と指摘したうえで、節税については、「今はずるのがあたりまえという時代。もちろん、法律に則った範囲ですが、注意しなければならぬのはやり過ぎるとお金がなくなってしまうこと。節税はほとん

どの場合、現金が出ていく行為。まったくやらないと今度は納税額が大きくなってしまおうので、このバランスを考慮したアドバイスを常に心がけている。

スタッフとともに多忙な毎日を送る。「クライアントの数を100件に増やすことが当面の目標。そのためには勉強や読書などで、自己研鑽に励み、常にスキルを磨いて自分を向上させ続けなければいけない」ときっぱり。数年後にはスタッフを増や

し、事務所の規模も大きくする計画だ。

「小人数体制なので、顧客依頼はすべて私に対応できることが、お客さまにとってのメリットでしょうか」

中小企業のクライアントを多く抱えており、今後も孤独な経営者のよき相談相手でありたいと考えている。「中小企業の場合は業績のほぼすべてが社長の

責任になることが多い。その重責を財務面そして、精神的な部分で少しでも和らげてあげられる。そんなサポートをしていきたい」と決意を口にす。

仕事に対しては、ストイックで誠実。仕事を離れるとユーモアあふれ、気さくな性格の持ち主。「一意専心、を胸に税理士業務に邁進する。」

■川村会計事務所
 ▷堺市堺区戎之町西1の1の6 ITKビル2階
 ☎072・232・1088
 mail info@kawamura-tax.jp
 http://www.kawamura-tax.jp/